



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス－専門科目（経済学科開設科目）」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	金融論 I		
担当教員	築田 優		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	水 5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年生		
科目名 (英語表記)	Modern Finance I		
開設学科	経済学科		
研究室	本館棟 E-416		
オフィスアワー			
授業の概要	金融論および証券市場論の基礎的内容について学習する。講義形式を基本とし、必要に応じて PBL (Problem Based Learning) を取り入れることもある。		
授業計画	以下のように進めていくことを予定しているが、必要に応じて変更を加えることもある。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	金融の基礎① (フローとストック)	
	3	金融の基礎② (金利および利回りとは)	
	4	金融の基礎③ (決済システム)	
	5	金融の基礎④ (中央銀行とその役割)	
	6	金融の基礎⑤ (証券化、デリバティブ、グローバル化)	
	7	金融政策① (日本の金融政策：80年代後半のバブル経済)	
	8	金融政策② (日本の金融政策：80年代後半の金融政策)	
	9	金融政策③ (日本の金融政策：90年代の金融政策)	
	10	金融政策④ (日本の金融政策：90年代の金融政策)	
	11	主要先進国の金融システム① (アメリカ)	
	12	主要先進国の金融システム② (ユーロ・システム、イギリス、その他の主要諸国)	
	13	金融市場の諸問題① (サブプライムローン問題の顕在化とリーマンショック) ※PBL形式を予定	
	14	現代金融の諸問題② (リーマンショック以降の金融危機と欧州ソブリン危機) ※PBL形式を予定	
15	まとめ		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 金融に関する事象について、理論的にも歴史的にも深く理解できるようになること。 金融機関への就職を希望する学生が、十分な知識を持って就職活動に臨め、内定を得、実際に知識的アドバンテージをもって業務に臨めるようになること。 		
成績評価方法	試験の成績により決定します。出席回数や発言回数により加点または減点することはありません。		

	ただし、受講マナーの悪い学生については、試験の成績と関係なく厳しい判断をします。
教科書	なし。授業では資料を配布します。
参考書	『証券化と住宅金融—イギリスの経験—』（時潮社）
授業時間外学習	授業での学習以外に、予習と復習の時間を十分にとって下さい。
受講を推奨する関連科目	金融、証券、ファイナンス系の科目は積極的に履修して下さい。
履修上の注意・メッセージ	授業開始後の入室は原則認めていません。交通機関の遅れなど、やむを得ない事情がある場合は別です。

